

# 福山通運株式会社・近畿日本鉄道株式会社

物流分野においては、全国的に自動車運送業の担い手不足、消費者ニーズの高度化や多様化、環境負荷の低減などが重要な課題となっている。このような背景から、大阪～名古屋間でトラック輸送していた翌日配送の荷物を、名阪特急「アーバンライナー」の空きスペースを利用した鉄道による貨客混載輸送に転換することで、CO<sub>2</sub>排出量の削減やドライバーの運転時間の削減とともに、名阪間での荷物当日配送を安価で実現し、利用者の好評を得ている。  
 なお、この取組みは、**大手民鉄では初めて物流総合効率化法の認定を受けた取組みとなる。**

## 取組内容・効果

令和3年7月の本格運行以降、以下のような効果があった

- ・ 鉄道の定時性・速達性を活かし、道路事情によらない安定した輸送ルートを確認することで当日配送サービスを実現し、チャータートラック便需要を取り込んだ
- ・ 令和3年7月1日～翌年4月30日の10か月間で、**貨客混載列車を196回運行**  
 鉄道への転換によるCO<sub>2</sub>排出量抑制は**18.7tに相当**（杉の木1328本が1年間に吸収する二酸化炭素量に相当）  
 ドライバーの**運転時間を980時間相当削減し、ドライバー不足の解消に貢献**



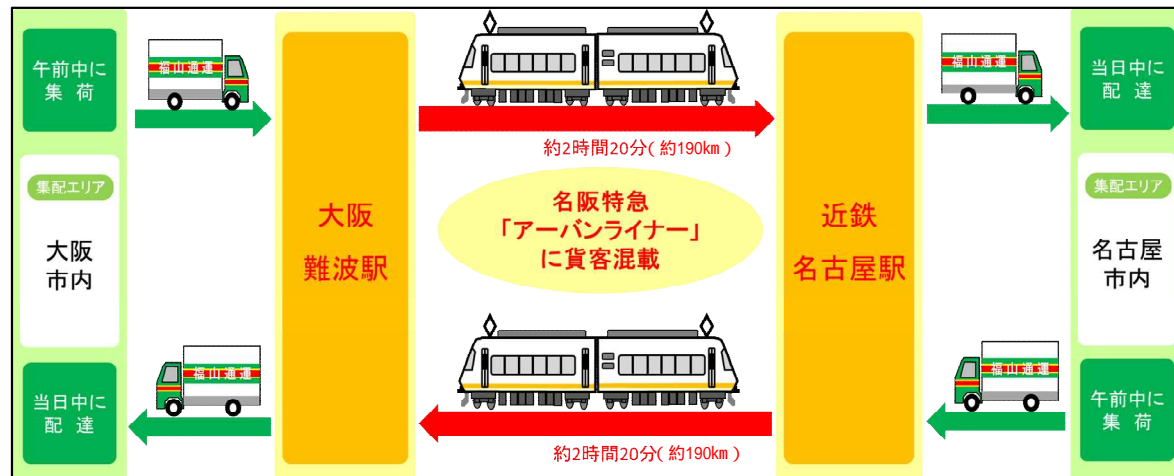
名阪間での当日配達サービス開始をPRしたパンフレット

## SDGsへの貢献

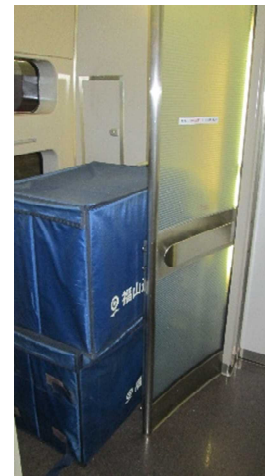
- ドライバー不足の解消（8．働きがいも経済成長も）
- 安定した安価な当日配送で利便性向上（11．住み続けられるまちづくりを）
- CO<sub>2</sub>排出量削減の環境対策（13．気候変動に具体的な対策を）



名阪間で小口出荷の利用があるお客様約600社に営業を実施。お客様からは、急送品貨物への対応要望が多いため、本サービスのご利用を案内している。



名阪特急「アーバンライナー」を利用した貨客混載輸送のスキーム図



列車への積載状態



大阪難波駅での積卸作業の様子